

サービス
身 精
パ

株式会社 セントラルリリーフ

株式会社セントラルサービスの特例子会社※

事業所全体で「仲間」として働ける職場を



社員の声



松本 光輝さん
(入社:平成26年4月)

期待に応えられるように頑張りたい

・入社の経緯

公共交通機関を利用して通勤可能な勤務先を検討していたため、駅から近い会社を学校の先生に紹介していただき、複数回の実習を経て採用していただきました。

・仕事内容

現在の仕事は、親会社から委託されたデータ入力、専用のデザインソフトを使用した名刺・Tシャツなどのデザイン、ノベルティ製作などです。特にデータ入力業務では、入力した内容にミスがないか何度も確認するように心掛けています。また、工作中に何か分からないことがあれば、すぐに先輩に聞くようにしています。先輩方は、優しく、時に厳しく指導していただけるので、その指導に応えられるよう日々頑張っていきたいです。

・仕事に対する思い

入社当時は、障害のある自分が戦力になれるのか、周りに迷惑をかけてしまうのではないかと不安を感じていました。現在でも、その不安は全て拭きませんが、仕事に打ち込むことにより、不安を一つずつ消しながら戦力として貢献できるように頑張っていきたいです。



■通勤の様子

駒形駅から新前橋駅まで電車で移動し、会社まで車椅子で通勤します。



■データ入力

専用のソフトを使用して、パソコンで親会社から委託されたデータを入力します。

社員の1日のスケジュール

障害のある社員9名のうち、身体障害のある松本さんの業務の様子を紹介します。

- 9:00 ● 出社
5~10分ほど清掃をします。
- 9:10 ● 作業開始
データ入力業務に入ります。ミスがないように、しっかり確認しながら作業を進めています。
- 12:10 ● 昼食
ミーティング室でみんなと一緒に談笑しながら昼食をとります。
- 13:00 ● 作業再開
データ入力が終われば、名刺のデザインや、ノベルティ製作に入ります。デザインソフトの操作は、入社後に先輩に教えていただきました。
- 16:40 ● 退社
日報を提出して退社します。



■ノベルティ製作

一つひとつ手作業で製作しています。(写真はだるまの絵付けを行っているところ)

雇用に際しての取り組み

「この会社にまた明日も来たい」と思う仕事を

障害のある社員の特性に合わせた業務を割り振っています。しかし、「この人には現在の業務以上に実力を発揮できる業務があるのではないか」と常に考え、色々な業務を経験してもらうようにしています。なぜなら、障害のある社員が「この会社にまた明日も来たい」と思ってもらいたからです。一人一人の特性に合った仕事を任せることにより、仕事を好きになってもらえるように日々意識して取り組んでいます。



話を聞くこと、話しかけることを常に心掛ける

障害のある社員の話をよく聞くことが職場への定着に向けとても大切です。相談を受けた際、「業務が忙しいから」などの理由により断ってしまうと、それだけで不安になる方もいますので、できる限り話を聞く時間を作っています。また、普段から社員全員で食事をし、休憩時に声をかける等、日常的にコミュニケーションを取ることで、障害のある社員が相談しやすい環境整備を心掛けています。



車椅子利用者が快適に作業できる環境

車椅子利用者が、異なる高さの机で作業をする際には、机の高さに合った椅子に移動しなければいけないため、移動をする度に疲れてしまいます。また、障害のある社員によって車椅子の大きさが異なるため、車椅子利用者それぞれに、高さの調整可能な机を助成金により導入しました。これにより、車椅子を利用した状態でも快適に作業ができる環境にしています。



働きやすい勤務時間への配慮

精神障害のある社員の業務に関して、個々の状況にもよりますが、長時間にわたり業務を続けることに困難のある方や、無理に頑張りが過ぎてしまったり体調を崩してしまう方もいます。そのため、障害のある方に負担なく力を発揮してもらえるよう、一人一人の希望、体調を踏まえ、勤務時間を個別に設定(4時間以上)するなどの配慮をしています。



事業内容

ハンデキャップよりも才能や能力・前向きな姿勢を重視し、誰もが安心して働ける職場を作りたいという考えから、株式会社セントラルサービスの特例子会社として設立。株式会社セントラルリリーフでは、ノベルティ製作業務やデータ入力業務、デザイン業務といった専門業務に障害の種別に関係なく、社員全員が協力して従事しています。



障害のある社員の業務内容

- ・ノベルティ製作業務
- ・受付業務
- ・データ入力業務
- ・清掃業務
- ・デザイン業務
- ・軽作業業務



障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

障害のある方は立派な「戦力」として働くことができます!



管理課 課長
岩崎 裕行さん

業務から仲間意識を構成する

障害のある社員の特性に合わせて業務を割り振り、一人一人が責任のある仕事に取り組んでいます。しかし、パソコンに向かっての仕事や、細かい手作業などが多く、社員同士が会話する機会も少ないです。そこで、障害のある社員に孤立感を与えないために、社員全員と一緒にできる業務(軽作業など)も創出しています。全員と一緒に仕事をすること

により、社員同士のコミュニケーションが活性化し、仲間意識が構成されるのではないかと考えています。

心のバリアフリーを意識する

一緒に働く社員が、障害のある社員と接する際に、少しでも心に壁(バリア)を作った状態で接すると、障害のある社員は心の壁を感じ取り、距離を置いてしまいます。そのため、同じ職場で働く「仲間」と思い、他の社員と分け隔てなく接することが大切です。

※特例子会社・・・障害のある方の雇用の促進及び安定を図るため、障害のある方の雇用に特別の配慮をして設立した子会社。一定の条件を満たす場合には、雇用率の算定において親会社の一事業所とみなされる。

■事業所データ

設立 2014年(平成26年)
常用労働者数 11人
代表者 代表取締役社長
大本計馬
所在地 〒371-0844
群馬県前橋市
古市町210番地3
(2F)

TEL:027-210-8077
URL:www.cs-relief.co.jp



■会社概要

平成26年2月に株式会社セントラルサービスの特例子会社として、株式会社セントラルリリーフを設立。

■障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 9人
うち重度障害のある社員数 2人

区分	身体	知的	精神
正社員			
契約社員			
パート	4人		5人
アルバイト			